

令和7年度 大田区立入新井第一小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和7年4月1日

児童数は毎年500名を超える中規模校で、通常学級17学級、特別支援学級6学級(知的3、難聴・言語3)の開校150年を迎える地域でも大変歴史ある学校である。研究活動を重視しており、大田区がすすめる新教科「おおたの未来づくり」の研究実践3年間や理科教育の拠点校、さらに令和6・7年度は研究推進校として自立的な学習者を育てるための新たな教育課題研究に取り組んでいる。令和7年度からは東京都教育委員会のデジタルを活用した新たな学びについても併せて研究を進める。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
生涯学習・国際化推進事業 ①外国人労働者の受け入れ ②外国人労働者の生活支援 ③外国人労働者の社会参加 ④外国人労働者のキャリア形成 ⑤外国人労働者の健康増進	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		児童が自らICTを効果的に活用し、学びを広げたり深めたりする授業に取り組めたことと回答する教員の割合	49.5%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			39.0%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			28.5%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			18.0%以上					
お世界をつなぐ人材を育てる事業 ①国際交流の促進 ②国際交流の拡大 ③国際交流の深化 ④国際交流の活性化 ⑤国際交流の持続化	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		SDGsの取組について理解し、特に地域との関連もある社会課題についての探究的な学びを通して自ら解決する力が伸びたと考える高学年児童の割合	48.0%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			37.0%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			26.0%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			15.0%以上					
一人ひとりの個性と能力を伸ばす事業 ①個別対応型の授業 ②個別対応型の学習 ③個別対応型の指導 ④個別対応型の支援 ⑤個別対応型の評価	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		一日30分以上の運動や早寝・早起き・朝ごはん等の健康的な生活を送っていると回答した児童の割合	37.0%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			26.0%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			15.0%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			15.0%以上					
一人ひとりの個性と能力を伸ばす事業 ①個別対応型の授業 ②個別対応型の学習 ③個別対応型の指導 ④個別対応型の支援 ⑤個別対応型の評価	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			26.0%以上			C		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			15.0%以上					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			15.0%以上					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			15.0%以上					
一人ひとりの個性と能力を伸ばす事業 ①個別対応型の授業 ②個別対応型の学習 ③個別対応型の指導 ④個別対応型の支援 ⑤個別対応型の評価	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			15.0%以上			D		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

学 個 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	個別最適な学びをテーマ中心にした校内研究・研修を通して、授業改善が図られ、誰一人取り残さない授業改善に取り組めたと回答した教員の割合	4:80%以上			A		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:70%以上					
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。		2:60%以上					
					1:50%以上					
た 自 個 め の ら 目 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 い き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	いじめの未然防止、早期発見、早期対応が組織的にできていると回答する教員の割合	4:95%以上			A		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。		3:90%以上					
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:85%以上					
					1:80%以上					
安 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 つ 習 く 空 間 と す 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	子どもが自ら興味・関心をもって学べる学習環境を整備・充実することができたと回答した教員の割合	4:90%以上			A		
		③避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:80%以上					
					2:70%以上					
					1:60%以上					
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し ・ て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	150周年の取組を通じて、地域の人とかかわる学習を充実させたり、児童に地域のために活動する活動を勧めたりする教育活動が充実できたと回答した教員の割合	4:80%以上			A		
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:70%以上					
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:60%以上					
					1:60%以上					

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す